

小児等在宅移行研修

研修名		(1)指定二次救急医療機関（小児）医療職研修		(2)診療所等医師向け研修	(3)保健師向け研修	(4)多職種合同研修	
事業目的		在宅移行支援病床運営事業や在宅療養児一時受入支援事業を担う医療機関を増やす。		小児在宅医療及び小児在宅移行を担う医師の確保を行う。	こども救命センター・周産期センター等と連携を図りながら、地域における支援を強化する。	小児等の在宅移行支援を担うリーダー的職員の人材育成を行う。	
対象	施設	指定二次救急医療機関（小児）※		診療所、指定二次救急医療機関（小児）	保健所・保健センター等	こども救命センター、周産期母子医療センター、指定二次救急医療機関（小児）、診療所、訪問看護ステーション、保健所、保健センター、重症心身障害児施設、区市町村障害福祉主管課、特別支援学校等	
	職種	看護師	理学療法士	医師等	保健師	医師、看護師、保健師、MSW、薬剤師、その他	
実施場所		都立東部療育センター	都立小児総合医療センター（委託）		（未定）	（未定）	医療法人財団はるたか会委託
実施日時		（2日間）	（3日間）	（各5日間）	（各1日）	（半日～1日）	（2日間）
人数		3人（3施設、各1人）（予定）	15人（6施設）予定	6人（6施設）予定	3人（予定）	50人（予定）	150人（予定）
講師		センター職員	医師・看護師 臨床工学士他	医師 理学療法士	医師	医師 MSW 他	医師他
内容		○見学・実習 ・入所や短期入所児への看護（抱き方、呼吸管理、食事介助等について） *施設研修プログラムを使用	○講義・見学・実習 ・NICU等の見学 ・人工呼吸器の取扱 ・人工呼吸器装着児の看護 ・重症心身障害児の療育と支援 ・在宅移行への支援 ・看護ケア実習	○講義・見学・実習 ・NICU・GCU・PICU等の見学 ・発達評価と支援 ・ポジショニング ・退院時の家族支援 ・重症児のリハビリテーション	○講義・演習等 ・訪問診療同行 ・小児在宅医療に係るシステム等	○講義 ・疾病や障害の理解と支援 ・NICU・GCU・PICUから在宅移行する重症児の家族支援 ○見学 ・NICU等の見学	○講義 ・NICU・GCU・PICU等の児の状況 ・在宅移行支援について ・小児在宅の現状 ○ワークショップ 事例検討、支援計画作成演習 ○実技（職種別、選択制）

※在宅移行支援病床運営事業及び在宅療養児一時受入支援事業を実施または今後実施する意向がある指定二次救急医療機関（小児）